

箱庭療法における見守りに関する探索的研究 — 実験場面における NIRS データと内省から —

島根大学人間科学部 石原 宏

箱庭療法 (Sandplay Therapy) は、砂の入った箱とミニチュア玩具を用いて行う心理療法の一技法であり (河合, 1969)、国内外の心理臨床の現場に広く普及している。箱庭療法においてクライエントは自由に守られた空間において表現を行い、セラピストはクライエントの表現を邪魔せずに見守ることが大切な役割となる。箱庭療法の治療的要因のうち最も重要なものはクライエントとセラピストの関係性であるとされる (河合, 1982) が、箱庭療法のプロセスで実際に何がどのように治療的に働いているのかについては、まだまだ十分な説明がなされておらず、様々な手法によって知見が蓄積されることが望まれている。発表者らの研究グループ (研究代表者: 秋本倫子) では、箱庭療法の治療的要因を神経科学的な視点から探求することを主要な関心事としてきた。Akimoto et al. (2018) では、近赤外分光法 (NIRS) 装置を用いて箱庭制作中の制作者の脳活動から、一事例の分析を通して前頭葉と側頭葉が連動して記憶イメージを箱庭内に再構築している可能性を示唆した。

近年、社会認知神経科学における社会的相互作用の先行研究では、二者以上の協働作業において前頭前野の脳活動が同期することが報告されている (Nozawa et al., 2016, Fishburn et al., 2018, Pan et al., 2017)。箱庭療法におけるクライエントとセラピストの関係を二者の協働作業と見るならば、箱庭制作中のクライエントとセラピストの脳活動にも同期が見られる可能性がある。そこで、発表者らの研究グループでは、箱庭療法におけるクライエントとセラピストの相互作用を自然に近い模擬箱庭セッションにおける両者の脳活動の観点から検討することを目的とした研究を行った。

具体的な研究デザインは、携帯型 NIRS 装置を用いてクライエントとセラピスト双方の前頭葉 2 か所の脳活動を同時計測し、量的データ (NIRS 計測値) と質的データ (セッションの録画記録、言語的やりとり、およびセッション後の体験の内省報告) を収集してそれぞれを分析し、結果を突き合わせながら統合的な解釈を行う、混合研究法の収斂デザイン (Creswell, 2018) であった。

クライエント役として健常大学生 9 名、セラピスト役として臨床心理専門家 4 名を 9 ペアに組んで行った実験のうち、本研究フォーラムでは、発表者がセラピスト役として参加した一事例について、箱庭制作過程、NIRS データを提示し、セラピスト役としての内省を合わせて報告することで、箱庭療法における見守り時の脳活動がどのように記録されるのか話題提供を行った。

【文献】

1. Akimoto, M., Furukawa, K., Ito, J. (2018). Exploring the sandplayer's brain. A single case study. 箱庭療法学研究 30(3), 73-85.
2. Creswell, J. W., & Creswell, J. D. (2018). Research design: Qualitative, quantitative, and mixed methods approaches. 5th edition. Sage publications.
3. Fishburn, F. A., Murty, V. P., Hlutkowsky, C. O., MacGillivray, C. F., Bemis, L. M., Muphy, M. E. Huppert, T. J., and Perlman, S. B. (2018). Putting our heads together- interpersonal neural synchronization as a biological mechanism for shared intentionality, Soc Cogn Affect Neurosci, 841-849.
4. 河合隼雄 (1969). 箱庭療法入門 誠信書房
5. 河合隼雄 (1982). 箱庭療法の発展 河合隼雄・山中康裕 (編) 箱庭療法研究 I 誠信書房 pp.VII-VIII
6. Nozawa, T., Sasaki, Y., Sakaki, K., Yokoyama, R., and Kawashima, R. (2016). Interpersonal frontopolar neural synchronization in group communication: An exploration toward fNIRS 534 hyperscanning of natural interactions. NeuroImage. 133, 484-497.
7. Pan Y, Cheng X, Zhang Z, Li X, Hu Y. Cooperation in lovers: An fNIRS-based hyperscanning study. Hum Brain Mapp. 2017 Feb;38(2): 831-841. doi: 10.1002/hbm.23421. Epub 2016 Oct 4

【付記】

本研究は JSPS 科研費 JP19K03351 の助成を受けて行われた。

【キーワード：箱庭, 見守り, 相互作用, 脳活動, NIRS】